年　月　日

解体等工事に係る事前調査書面

【自主施工者】

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

大気汚染防止法第18条の15第１項に基づき、解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

解体等工事の名称														
解体等工事の場所	西宮市													
解体等作業の種類		解体		改造		補修	改修履歴の有無							
解体等工事の実施期間		年		月		日	～		年		月		日	
建築物等の概要	建築年数			年	延床面積		㎡							
		木造		Ｓ造		ＳＲＣ造		ＲＣ造		その他工作物				
		ＣＢ造		その他	階層	地上		階	地下		階	ＰＨ		階
		耐火		準耐火		その他　（　　）								
事前調査者を行った者及び当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等	氏名			所属										
	講習実施機関の名称				登録番号									
	資格区分		特定		一般		一戸建て等							
			その他	（　　）										
調査を終了した年月日		年		月		日								
調査の方法		目視		設計図書等		分析		その他　（　　）						
調査結果	特定建築材料の有無		有		無		みなし	※特定建築材料の数量等は別紙１のとおり						
	破壊調査ができない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所													
	建築物等の階、部屋及び部位ごとの特定建築材料の使用の有無	別紙２（事前調査結果の詳細）のとおり												
届出の要否		大気汚染防止法第18の17第１項（第２項）に基づく届出（届出名称：特定粉じん排出等作業実施届出書）												
		兵庫県環境の保全と創造に関する条例第57条に基づく届出（届出名称：特定工作物解体等作業実施届）												
事前調査結果の掲示	掲示予定日		年		月		日	設置場所	別紙のとおり					

備考　１．特定建築材料があり、特定粉じん排出等作業に該当する場合は、別紙１を添付すること
　　２．工事中に特定建築材料を見つけた場合は、再度説明をすること

特定粉じん排出（石綿除去）等作業の概要

特定粉じん排出等作業の種類	大気汚染防止法施行規則別表第７	
		(1) 建築物の解体工事のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業（(2) 及び (5) を除く）
		(2) 建築物の解体作業のうち、石綿含有断熱材等を除去する作業（かき落とし、切断、又は破砕以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（(5)を除く）
		(3) 建築物等の解体作業のうち、石綿含有仕上塗材を除去する作業（(5)を除く）
		(4) 建築物等の解体作業のうち、石綿含有成形板・下地調整材等を除去する作業（(1)～(3)、(5)を除く）
		(5) 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業
		(6) 建築物の改造・補修工事のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等の除去等に係る作業
	↑該当するものに○	

特定粉じん排出等作業の実施の期間		年		月		日	～		年		月		日

特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料等の種類並びにその使用箇所及び使用面積	特定建築材料等の種類	使用箇所	使用面積
	1 吹付け石綿		㎡
	2 石綿含有保温材		㎡
	3 石綿含有断熱材		㎡
	4 石綿含有耐火被覆板		㎡
	5 石綿含有仕上塗材		㎡
	6 石綿含有下地調整材		㎡
	7 石綿含有成形板等		㎡
	※詳細は、別紙２のとおり		

特定粉じん排出等作業の方法		除去		囲い込み		封じ込め		その他

特定粉じん排出等作業の方法が法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由	
特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙のとおり
特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要	別紙のとおり　　石綿濃度測定実施の有無
掲示物の設置予定年月日及び設置場所	年　月　日　設置場所　別紙のとおり
特定工事の元請業者の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号：
下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号：

備考　１．解体等工事が特定粉じん排出等作業に該当する場合に作成すること
２．特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要については、計画している作業方法等が分かるものを添付すること

別紙２　事前調査結果の詳細

建物名称												築造年月（左：西暦）（右：和暦）	確認申請：		年		月			年
建物概要	建物構造									耐火構造			竣工時期：		年		月			年
	建物用途									延床面積		㎡	改修等履歴有無	用途変更改修：		年		月		年
	階　層	地上		階	地下		階	ＰＨ		階	設計図書等の有無			耐震補強工事：		年		月		年

発注者				元請業者				調査終了年月日		年	月	日
調査実施者	氏名		所属（会社名）		資格種類			登録番号			

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の建　材　名 ※４	建材確認済み ※５	現場調査による実際の建材名 ※６	層の有無 ※７	使用面積（㎡） ※８	石綿区分建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ区分 ※10	判定方法 ※11	試料NO. ※12	判定結果 ※13	劣化有無 ※14	備考 ※15

別紙２　事前調査結果の詳細

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の 建　材　名 ※４	建材 確認 済み ※５	現場調査による 実際の建材名 ※６	層の 有無 ※７	使用 面積 (㎡) ※８	石綿 区分 建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ 区分 ※10	判定 方法 ※11	試料 NO. ※12	判定 結果 ※13	劣化 有無 ※14	備考 ※15

別紙２　事前調査結果の詳細

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の建　材　名 ※４	建材確認済み ※５	現場調査による実際の建材名 ※６	層の有無 ※７	使用面積（㎡） ※８	石綿区分建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ区分 ※10	判定方法 ※11	試料NO. ※12	判定結果 ※13	劣化有無 ※14	備考 ※15

別紙２　事前調査結果の詳細

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の 建　材　名 ※４	建材 確認 済み ※５	現場調査による 実際の建材名 ※６	層の 有無 ※７	使用 面積 (㎡) ※８	石綿 区分 建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ 区分 ※10	判定 方法 ※11	試料 NO. ※12	判定 結果 ※13	劣化 有無 ※14	備考 ※15

別紙２　事前調査結果の詳細

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の建　材　名 ※４	建材確認済み ※５	現場調査による実際の建材名 ※６	層の有無 ※７	使用面積（㎡） ※８	石綿区分建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ区分 ※10	判定方法 ※11	試料NO. ※12	判定結果 ※13	劣化有無 ※14	備考 ※15

別紙２　事前調査結果の詳細

階層 ※１	部屋名 ※２	部位 ※３	設計図書・竣工図の 建　材　名 ※４	建材 確認 済み ※５	現場調査による 実際の建材名 ※６	層の 有無 ※７	使用 面積 (㎡) ※８	石綿 区分 建材名 ※９	ﾚﾍﾞﾙ 区分 ※10	判定 方法 ※11	試料 NO. ※12	判定 結果 ※13	劣化 有無 ※14	備考 ※15

「別紙２　事前調査結果の詳細」に関する注釈

◆別紙２の様式中にある「※（番号）」について、下記内容を参考に「別紙２　事前調査結果の詳細」を作成してください

※番号	項　　目	注　　釈
1	階層	☛書面調査及び現地調査した階層を記入する ☛間取りが同じで使用されている建材が同一と判断できる場合は階層をまとめて記入することも可 ☛煙突等の竪穴空間は上階から下階を含めて記入することも可（例：Ｂ１～ＰＨ（屋上））|
2	部屋名	☛設計図書に記載のある部屋名又は現地調査で確認した部屋名を記入する ☛改修により部屋の用途変更がされており、設計図書等記載の部屋名と現地調査時に確認した部屋名に相違があった場合は、旧部屋名に訂正線を付け、下段に実際の部屋名を記入する 【例】（旧）~~会議室Ａ~~　（新）応接室Ｂ　※様式記入例参照
3	部位	☛最低限、建築物の主要構造部について調査する （参考）主要構造部・・・壁、柱、床、梁、屋根、階段 ☛主要構造物のほか、天井、天井裏（特に鉄骨造の場合）、ＰＳ等の竪穴空間（ある場合）も調査対象とする ☛調査した部位は種別ごとに記入する
4	設計図書・竣工図の建材名 （プルダウン選択可）	☛解体等工事を行う建築物等に設計図書等がある場合、図書記載の建材名、仕上、材料厚み等の情報を可能な限り記入する ☛設計図書等に建材名の記載がない場合は「記載なし」とし、推測で記入したり曖昧な表記をしないこと ☛設計図書等がない場合の当該欄への記入は不要
5	建材確認済み （プルダウン選択可）	☛現地調査実施の記録と見落としを防止するため、現地調査を完了した箇所については、必ずチェック（✔）すること ☛諸事情により、現地調査が実施できなかった場合は「未」を選択する
6	現場調査による実際の建材名 （プルダウン選択可）	☛現場調査で確認した実際の建材名を記入する ☛建材表面に仕上（塗装や壁紙など）がされている情報もできる限り記入すること（推奨）
7	層の有無 （プルダウン選択可）	☛外壁塗材など建材が層形成されている場合は「有」とする ☛目視確認や試料採取により層形成されていない建材の場合は「無」とする
8	使用面積（㎡） （プルダウン選択可）	☛石綿含有建材の使用面積について記入する（推定数量でも可） ☛隠蔽箇所等で計測不可能な場合は「不明」と記入する ☛石綿なしの場合や調査できなかった場合は「―」と記入する

「別紙2　事前調査結果の詳細」に関する注釈

※番号	項　　目	注　　釈
9	石綿区分建材名 （プルダウン選択可）	☛下記選択肢に該当するものを選んで記入する（※石綿含有有無に係らず該当する建材種類を記入） **【選択肢】：「吹付材」「断熱材」「保温材」「耐火被覆板」「成形板等」「仕上塗材」「―」** ☛「下地調整材」は「成形板等」を選択する ☛調査ができなかった場合は「―」を選択する
１０	レベル区分 （プルダウン選択可）	☛【含有あり】とした建材について、作業レベルの区分を記入する ☛【仕上塗材】及び【下地調整材】については、「レベル３」と記入する ☛調査ができなかった場合は「―」を選択する
１１	判定方法 （プルダウン選択可）	☛下記選択肢に該当するものを選んで記入する **【選択肢】：「採取」「目視」「みなし」「―」** ☛「採取」は分析調査を実施することを意味する ☛「目視」により「含有なし」と判断する場合はその判断根拠を「備考欄」に明記すること ☛「みなし」は「目視」または「分析結果から同一と判断できる建材」の場合に行う ☛調査ができなかった場合は「―」を選択する
１２	試料NO. （プルダウン選択可）	☛試料採取した場合、付与した番号・記号等を記入する ☛様式に付与する試料NO.と分析結果報告書が異なる場合は、対照表を作成するなどして情報整理しておくこと
１３	判定結果 （プルダウン選択可）	☛下記選択肢に該当するものを選んで記入する **【選択肢】：「含有」「不検出」「不含有」「―」** ☛「含有」は、分析調査により含有が認められた場合や型番等で含有建材と判断した場合に選択する ☛「不検出」は、分析調査により「含有なし」と判定された場合に選択する ☛「不含有」は、製造メーカー・関係団体の公表資料や裏面等に印字された不燃番号・型番等で非含有建材と判明した場合に選択する ☛根拠なしに「不含有」としないこと ☛調査ができなかった場合は「―」を選択する
１４	劣化有無 （プルダウン選択可）	☛レベル１及びレベル２に該当する建材について、劣化度判定を行った場合、その判定結果を記入する **【選択肢】：「劣化」「やや劣化」「劣化なし」「―」** ☛成形板等のレベル３建材は「―」を記入する
１５	備考	☛現場確認や分析結果をもとに建材の特徴等を記入する ☛【含有ありみなし】や【目視による含有なし】と判断した根拠についても記入する ☛分析の結果、【含有あり】の場合は検出された石綿繊維種類も記入しておくことを推奨する 【参考】石綿種類表記凡例 Chr：クリソタイル（白石綿）　Amo：アモサイト（茶石綿）　Cro：クロシドライト（青石綿） Tre：トレモライト石綿　Act：アクチノライト石綿　Ant：アンソフィライト石綿